

# 令和2年度事業報告書

社会福祉法人  
岸和田市社会福祉協議会

# 目 次

法人運営事業、善意銀行事業、生活福祉資金・小口生活資金貸付事業	1
共同募金配分金事業、地域福祉活動・小地域ネットワーク活動推進事業	2
地域福祉推進事業	3
移送サービス事業、ボランティア活動事業	4
ボランティア養成講座、健康相談・健康運動講座、福祉総合センター運営管理事業	5
高齢者ふれあいセンター朝陽運営管理事業	6
権利擁護センター事業	7
地域包括支援センター事業	8
居宅介護予防事業、居宅介護支援事業、やすらぎ東光通所介護事業	9
ふれあい朝陽通所介護事業	10
ほっと久米田通所介護事業、障害福祉サービス事業	11
一般相談支援事業・地域生活支援事業、生活困窮者自立支援事業	12
コミュニティソーシャルワーカー設置事業	13

## 【法人運営事業】

法人の健全運営のため、理事会・評議員会の開催を行うとともに、各種会議の開催、調査などを行いました。

### (1) 諸会議の開催

- ①理事会・評議員会の開催（理事会 3 回、評議員会 2 回実施）＊書面含む
- ②正副会長会議（2 回実施）③監事の監査（1 回実施）

### (2) 事務局体制の強化

プロジェクトチームの編成（広報、研修、経営検討）

### (3) 財政基盤の増強

#### ①会員会費制の増強

一般賛助会員 3,308 人 4,183,000 円、特別賛助会員 262 団体 2,430,000 円  
組織構成会員 16 団体 140,000 円

#### ②共同募金運動の強化

### (4) 調査・研究事業

#### ①各種アンケート調査の実施

### (5) 心配ごと相談所（専門相談の運営）

- ①司法書士よろず相談 35 件 ②行政書士相談 21 件

### (6) 車イス貸出事業 個人利用 193 件（自走式 91 件、介助式 93 件、子ども用 9 件）、事業所利用 10 件（自走式 3 件、介助式 7 件）

### (7) 岸和田市居住支援協議会事務局の運営

## 【善意銀行事業】

新たな寄付者を開拓し、幅広く寄付を受付けることで寄付文化の醸成を目指しました。

- ①寄附の受付（一般寄付 27 件 672,357 円、指定寄付 35 件 6,738,611 円、物品寄付 23 件）
- ②払出し（助成）15 件 1,098,200 円（マイルーム食材・食料支援）28 件 1,151,427 円
- ③事業の啓発（社協だより、ホームページ）
- ④岸和田っ子を地域ではぐくむ居場所づくり事業の実績額 2,250,812 円

## 【生活福祉資金・小口生活資金貸付事業】

低所得世帯、障害者世帯、高齢者世帯が地域において安定した生活が送れるよう生活福祉資金貸付による支援を行うとともに、支援が必要な人への総合的な支援が行えるよう、関係機関と連携し、事業を運営しました。

### (1) 貸付

#### ①各種貸付金の貸付業務の実施。

総合支援資金 5 件 3,777,000 円、生活福祉資金 16 件 8,716,000 円  
教育支援資金 54 件 29,928,000 円、緊急小口生活資金 14 件 1,168,000 円

新型コロナ特例緊急小口資金 2,110 件 400,030,000 円

新型コロナ特例総合支援資金 2,339 件 1,905,110,000 円

(2) 啓発、相談・支援

①関係機関との連携による効率的な運営

(研修会の実施、情報交換の場の設置、修学資金説明会の実施)

②失業や病気など困難を抱える人々の相談・援助活動の実施

**【共同募金配分金事業】**

地域や企業、学校等で赤い羽根教室を実施する等、共同募金の啓発を行うとともに、新たな募金者の開拓による募金額の増額を目指しました。

(1) 大阪府共同募金会岸和田地区事務局を担当

・共同募金の実績額 10,225,047 円

(戸別 5,020,444 円 学校 326,397 円 街頭 491,688 円

法人 1,819,083 円 バッジ 2,174,500 円 その他 392,935 円)

・岸和田市の未来をつくる課題解決プロジェクト助成金配分審査会  
年 2 回開催 (配分詳細はボランティア活動事業に記載)

**【地域福祉活動・小地域ネットワーク活動推進事業】**

住民が主体となって行う福祉活動に対し、情報提供や研修等を通じて支援していきました。

(1) 活動支援

①各地区への活動助成 (24 校区、11,531,018 円)

②情報提供・組織の整備

地区福祉委員会活動状況

・個別援助活動ネット対象者数 5,735 人

・グループ援助活動参加者数 29,140 人

・ボランティア実人数 2,201 人

③きんきゅうキットの交付 (350 人に配布 ※累計 8,625 人)

\*対象：高齢者、個別援助活動対象者など

(2) 各種会議・研修会の開催

①地区福祉委員会連絡会の開催 (年 2 回、延べ 162 人参加)

②地域福祉活動研修会の開催 (年 2 回、41 人)

③リビング・子どもの居場所フォーラム (実施なし)

(3) 活動啓発

①福祉掲示板の交付 (0 基交付 / 累計 331 基)

②社協だより・ボランティア情報紙での活動紹介

③電子媒体（ホームページ・フェイスブック等）による活動紹介

（4）活動の連携

①地域支援専門職ネットワーク会議の開催（事務局）

社協地区担当者、CSW、地域包括支援センターが各圏域単位で連携を図ることを目的に開催 ※（ ）内は構成員数

\*全体会：開催なし \*都市中核圏域（17人）：16回開催

\*葛城の谷圏域（8人）：5回開催 \*中部圏域（8人）：4回開催

\*北部圏域（9人）：5回開催 \*牛滝の谷圏域（9人）：5回開催

\*久米田圏域（8人）：年9回開催

②地区別市民懇談会の開催支援

運営委員会の開催のサポートなど、3地区（常盤・光明・山滝）へ伴走型支援を行った。

## 【地域福祉推進事業】

福祉制度外のサービスの推進、当事者組織の支援、住民へ福祉の理解を深めるための各種事業を実施しました。

（1）当事者組織支援事業

①岸和田市介護者家族の会「みずの輪」の支援及び活動助成

定例のつどい年14回開催、延べ227人参加

総会（書面決議により開催） ※会員数88人（令和3年3月末現在）

②若年性認知症の本人と家族のつどい「まあるい会」への支援

助成金申請書推薦等

（2）福祉教育推進事業

①福祉教育推進校に対する活動支援及び活動助成（小中学校35校）

当事者講話・体験学習等 延べ118回を活動調整

②福祉教育推進校担当者会議の開催 年1回、延べ30人参加

③小・中学校に向けた赤い羽根キッズ教室の実施 3校実施

④未来づくり学校推進事業 10校17プログラムに助成

（3）だれもが集えるリビングの推進

①団体へ助成（3件）、日本赤十字社岸和田地区へ推薦（3件）

（4）岸和田っ子を地域ではぐくむ居場所づくりプロジェクト

①円卓会議の開催（年4回 92人参加）

②ボランティア研修（公開講座）の開催（年1回、29人参加）

③居場所の開催 17拠点（延べ145回、6,760人）

（5）自助具製作事業 製作件数10件、相談件数10件

（6）孤立をなくす家屋内リセット事業 5件調整

## 【移送サービス事業】

福祉車両を使用し、外出時に車いすが必要な人の外出を支援しました。

- (1) 福祉車両による対象者の送迎（年間 113 件）
- (2) 移送ボランティア養成講座の実施（令和 2 年度は実施せず）
- (3) 移送ボランティア交流会の開催（令和 2 年度は実施せず）

## 【ボランティア活動事業】

ボランティアコーディネート及び活動者支援、人材育成・啓発事業等を行います。また、各種関係機関・団体と協働で災害時ボランティア活動支援体制の整備を行いました。

- (1) 各種会議の開催
  - ①ボランティアセンター運営委員会（年 2 回、22 人参加）
  - ②岸和田バリアブレイクプロジェクト（旧：車いすユーザーも楽しめる岸和田祭実行委員会）（7 回、59 人参加）
- (2) ボランティアコーディネート・ボランティア・市民活動支援  
相談件数 来所 5,073 件 電話相談 1,495 件
  - ①ボランティア相談受付（活動希望者・募集希望者）
  - ②既存の活動実践者の活動支援・協働実践のコーディネート
  - ③ボランティア連絡会の運営支援
- (3) 人材育成事業
  - ①傾聴ボランティア講座（年 1 回 3 日間開催延べ 43 人参加）
  - ②ボランティア体験プログラムの実施  
（受入施設・団体 15 延べ 30 人参加）
- (4) 調査・研究事業  
令和 2 年度は実施なし
- (5) 広報・啓発事業
  - ①ボランティア情報紙の発行（年 3 回）
  - ②市民活動ステーションの開催（年 1 回 延べ 27 人参加）
  - ③Facebook YouTube チャンネルによる発信
- (6) 防災対策事業
  - ①きしわだ災害ボランティアネットワークの開催  
（年 6 回、延べ 98 人参加）
  - ②災害時市民たすけあい講座（災害 VC 設置・運営訓練）の開催  
（年 1 回、18 人）きしわだ災害ボランティアネットワークメンバーのみ
  - ③ドローン講習会 年 39 回、延べ 221 人参加、9 人修了
- (7) ボランティア保険の受付  
活動保険 210 件、行事保険 384 件、非営利有償保険 4 件

送迎サービス補償：0件

(8) ボランティア・市民活動団体へ助成金の交付

①ボランティア・市民活動団体 29団体 870,000円

②岸和田市の未来をつくる課題解決プロジェクト 7団体 1,205,000円

### 【ボランティア養成講座（市受託事業）】

多くの市民が、ボランティア活動に関心を持ち活動できるよう、福祉拠点を活用した講座を実施しました。（年間延べ回数・人数）

点字講座 15回 74人、手話講座 22回 212人

朗読講座 15回 100人、要約筆記講座 0回 0人、

拡大写本講座 2回 20人、視覚障害者PCサポート講座 2回 5人、

自助具講座 1回 7人

・点訳図書・録音図書の製作

点字図書 9タイトル、デイジー図書 47タイトルを図書館に寄贈

### 【健康相談・健康運動講座（市受託事業）】

広く市民が健康な生活を送れるよう、福祉拠点を活用した健康相談、健康運動講座と身体障害者体力維持講座を実施しました。（延べ回数・人数）

健康運動講座 470回 5,469人、身体障害者体力維持講座 76回 944人

健康相談 43回 148人、スポーツ健康相談 23回 23人

### 【福祉総合センター運営管理事業（指定管理者）】

高齢者、障害者を対象に社会参加の機会や場の提供、また、生きがいつくりやふれあい交流の場となるよう、各種講座等を開講しました。

(1) 福祉総合センターの運営管理

①貸し室の申し込み受付、施設の維持管理

登録団体 241団体（減免団体 184団体、一般有料団体 57団体）

団体利用状況年間 135,946人（6,629回）個人利用状況年間 17,050人

②敷地の維持管理

③高齢者・障害者の就労実習（体験）受入れ及び営繕業務での就労の場の提供

④利用者アンケートの実施 年3回（設備、教養講座等）延べ 170人回答

⑤浴室利用

登録 37人（男性 16人、女性 21人）

169日運営 466人（男性 314人、女性 152人）

(2) 各種教養講座の開催

①福祉センター講座・特別講座の企画

特別講座：年2回56人 自主講座：11回117人

②各種講座、相談の実施（年間延べ回数・人数）

料理講座12回130人、茶道講座20回160人、華道講座27回445人

書道講座36回736人、陶芸講座37回476人、民謡講座12回129人

視覚障害者ヨガ講座10回65人、障害児ねんどあそび講座1回2人

趣味の園芸講座9回82人、趣味のちぎり絵講座10回121人

スマートフォン講座31回272人、ボールペン習字講座30回310人

フラダンス講座39回154人、日本民踊講座19回78人

初めての囲碁講座12回118人、

パラリンピックスポーツ体験講座6回36人、

じいじばあばのハッピー他孫（たまご）育て講座6回66人

折り紙講座12回141人、歌体操講座6回72人

(3) 各種大会、クラブ活動の支援

①各種大会の開催（囲碁大会）

\*老人卓球大会、ゲートボール大会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できず

②クラブ活動への支援（老健クラブ、囲碁クラブ、書道クラブ、陶芸クラブ）

(4) 啓発

①教養講座活動発表会の実施（2月15日～19日）多数参加、アンケート13名回答

**【高齢者ふれあいセンター朝陽運営管理事業（指定管理者）】**

高齢者を対象に教養講座等の開催またクラブ活動の場の提供等により、仲間づくり、生きがいを支援し、社会参加を促進するとともに、地域住民とのふれあい交流の場を提供しました。

(1) 高齢者ふれあいセンター朝陽の運営管理

①運営懇談会の開催 年4回、延べ26人参加

②利用者アンケートの実施 新型コロナウイルス流行のため実施できず

③施設利用状況（年間延べ）

個人利用状況 11,296人、団体利用状況 582団体、3,773人

(2) 事業の周知、啓発

①ふれあい朝陽新聞の発行（年4回）

②ふれあいセンター「朝陽まつり（展示会）」の開催 12/5 53人参加

(3) 講座、教室の開催 \*回数は年間、人数は延べ

①高齢者健康体操講座 30回、475人

②ふれあい教室「うた」6回、116人

③ふれあい教室「レクリエーション」9回、115人



- ④誰でもできる手縫い教室 2回、18人
- ⑤男の筋力アップ体操教室 15回、112人
- ⑥はつらつ・ストレッチ体操教室 15回、205人
- ⑦GNPP体操 17回、256人
- ⑧フラダンス教室 16回、87人
- (4) 各種大会・行事等の開催 \*回数は年間、人数は延べ
  - ①バンパー大会（新型コロナ感染拡大防止の観点から中止）
  - ②ふれあいシアター 3回、57人
  - ③福祉まるごと相談ひろば「いこい」 7回、143人
  - ④いきいき&かみかみ100歳体操 38回、644人（クラブ活動へ）
- (5) 地域との連携
  - ①地区市民協議会、福祉委員会への参加
  - ②朝陽小学校・幼稚園との交流（新型コロナ感染拡大防止の為、中止）
- (6) 避難訓練等の実施
 

避難訓練を併設のデイサービスセンターと合同で実施  
（新型コロナ感染拡大防止の為、中止）

AED講習会（普通救急救命I）今年度未実施

## 【権利擁護センター事業】

日常生活自立支援事業、成年後見制度に関する相談支援、法人後見事業、市民後見人の活動支援を行い、岸和田市における権利擁護支援体制の推進にあたりました。

また、なんらかの支援が必要な人の孤立を予防し、社会参加と自立支援を目的に、居場所づくり事業の企画、運営を行いました。

- (1) 日常生活自立支援事業 契約件数 343件
 

（内訳：認知症高齢者 131件、知的障害者 77件、精神障害者 135件）

  - ①福祉サービスについての情報提供、助言
  - ②福祉サービス利用手続きの代行
  - ③日常的な金銭管理
  - ④通帳、印鑑等の預かり（保管）
  - ⑤事例検討会の実施
  - ⑥成年後見制度への適切な移行支援
- (2) 成年後見制度の利用支援
  - ①成年後見制度に関する相談支援や申立て支援
  - ②権利擁護支援検討会議の実施（12回開催）
  - ③権利擁護に関する研修・セミナーの開催  
（市民向けセミナー1回、専門職向けセミナー1回）

(3) 法人後見事業の運営

(受任件数 20件 内訳：後見13件、保佐4件、補助3件)

①受任事案についての後見活動

②事業運営委員会(2回開催)、受任審査会の開催(1回開催)

(4) 市民後見人受任者の活動支援 (受任件数5件)

①市民後見人活動の相談支援、助言(専門相談16回実施)

(5) 居場所づくり事業の運営(開所日65回、延べ利用数250人)

※新型コロナ感染拡大防止の為、4~6月は休止。

①居場所づくり事業の企画・運営

②高齢者・障害者の就労実習の企画・調整

(6) 生活支援専門員及び生活支援員の配置(専門員7人、支援員10人)

**【地域包括支援センター受託事業「都市中核圏域」「久米田圏域」】**

高齢者が住み慣れた地域で、できる限り自立した生活が継続できるように、本人及びその家族、地域住民、関係機関等を総合的に支援しました。

(1) 包括的支援事業

①介護予防マネジメント業務

・二次予防マネジメント

・いきいき百歳体操の立上げ支援(都市中核 なし、久米田 なし)

②総合相談支援業務

・地域におけるネットワークの構築(あんしんネットに参加)

・実態把握

・徘徊高齢者等見守りネットワーク登録者の家族やケアマネジャー、本人にヒアリングを行う。

・要支援判定者の基本情報を入力し、傾向調査を行う。

・見守活動同行(都市中核6回)

③権利擁護業務

・高齢者虐待の防止及び対応(都市中核19件、久米田8件)

・消費者被害の防止及び対応(都市中核1件、久米田2件)

・判断能力を欠く人への支援(成年後見制度利用援助)

都市中核：7件対応 うち申し立て件数1件

久米田：5件対応 うち申し立て件数2件

④包括的・継続的ケアマネジメント

都市中核：ケアマネ勉強会(5回)事例検討会(2回)

久米田：ケアマネ勉強会(4回)事例検討会(4回)

(2) 他職種協働による地域包括支援ネットワークの構築

認知症サポーター養成講座の開催（都市中核 6 回、久米田 2 回）

（3）地域ケア会議の実施

都市中核：なし

久米田：1 回

（4）生活支援体制整備業務

都市中核：会議 2 回、生活援助サービス従事者研修 6 回

### 【居宅介護予防支援事業】

高齢者が住み慣れた地域で、できる限り自立した生活が継続できるよう、自立支援を目的とした介護予防計画を作成すると共に、福祉サービス事業者との連携や地域の社会資源を活用し合的な介護予防を推進しました。

（1）予防給付ケアマネジメント

都市中核：5,362 件（直 1,550 件 委託 3,812 件）

久米田：4,177 件（直 1,116 件 委託 3,061 件）

（2）指定居宅介護予防支援事業所の運営

①介護予防プランの作成

②居宅介護支援事業所へ委託したプランの支援、指導及び進捗状況把握

### 【居宅介護支援事業（ケアプラン岸和田市社協）】

介護（予防）を必要とする市内の高齢者等が、居宅において日常生活を営むために必要な保健医療サービスまたは福祉サービスを適切に利用できるように、社会福祉協議会の特性を活かし、地域との連携を図ったケアプラン作成に取り組みました。

（1）ケアプラン岸和田市社協の運営

①居宅介護支援事業（介護計画作成、給付管理及び相談援助）

②事例検討会議等の開催（毎月 1 回実施）

③介護支援専門員専門研修等への参加

④特定事業所加算の取得

（2）人員体制・実績

①介護支援専門員 5 人（常勤 5 人）体制による公平中立な立場で、自立支援につながる適切な介護計画の作成

②介護計画（年間作成数 1,579 件 月平均 131 件）

予防計画（年間作成数 523 件 月平均 43 件）

### 【やすらぎ東光通所介護事業】

要介護・要支援状態となった場合においても、利用者様が可能な限り在宅で、自立した日常生活を送ることができるよう、必要な日常生活上の介護及び心身機能の維持回復並

びに家族の心身の負担軽減を図りました。

(1) やすらぎ東光デイサービスセンターの運営（保健センター内）

- ①週 5 日開所、サービス時間 5～6 時間型、利用定員 35 人  
（開所日数：243 日、通所介護利用者延べ 3,767 人）
- ②現行相当・日常生活支援総合事業の実施  
（開所日数：243 日、通所型サービス A 利用者延べ 1,837 人）
- ③会議・研修等の開催  
（看護師会議・スタッフ会議：毎月 1 回）  
コロナ対策会議 3 回）
- ④岸和田市介護保険事業者連絡会への参画
- ⑤行事、レクリエーション、制作等プログラムの実施  
（お花見ドライブ、七夕会、納涼会、クリスマス会、感謝祭、運動会、等）
- ⑥やすらぎ東光だよりの発行（第 102～113 号毎月発行）
- ⑦ボランティア、実習生等の受け入れ  
実習生延べ 9 人、ボランティア体験プログラム延べ 9 人、職業体験プログラム延べ 5 人、個人ボランティア延べ 5 人、ボランティアグループ延べ 23 人（傾聴ボランティア 0 人、地区福祉委員会 0 人、散髪ボランティア 23 人）
- ⑧通所介護計画書、利用状況報告書の作成  
（通所介護計画書→随時作成、利用状況報告書→毎月末作成）
- ⑨デイサービス事業の運営方針の検討
- ⑩職員の技術・知識向上  
研修会への参加 2 回

**【ふれあい朝陽通所介護事業】**

要介護状態となった場合においても、利用者様が可能な限り在宅で、自立した日常生活を送ることができるよう、必要な日常生活上の介護及び心身機能の維持回復並びに家族の心身の負担軽減を図りました。

(1) ふれあい朝陽デイサービスセンターの運営

- ①週 5 日開所、サービス時間 5～6 時間型、利用定員 18 人  
（開所日数：243 日、通所介護利用者延べ 1,964 人）
- ②総合事業の実施  
（開所日数：243 日、総合事業利用者延べ 226 人）
- ③会議の開催及び研修等への参加  
（看護師会議・スタッフ会議・正職会議：毎月 1 回  
岸和田市介護保険事業所連絡会への参加等）
- ④季節ごとの行事等の実施開催

(お花見、七夕会、納涼会、喫茶レク、運動会、クリスマス会、  
製作レク等)

⑤機能訓練の実施

{ペダル漕ぎ、体操、筋力トレーニング (セラバンド等)}

⑥ボランティア、実習生及び職場体験等の受入れ (随時)

ボランティア延べ 19 人 (エステ 0 人、散髪ボランティア 19 人、  
傾聴ボランティア 0 人、歯科ボランティア 0 人、  
特技ボランティア 0 人) 実習生 3 人

## 【ほっと久米田通所介護事業】

利用者様が可能な限り在宅で、自立した日常生活を送ることができるよう、運動機器を活用し、心身機能の維持回復を図りました。

また、人と人のつながりを通じて利用者様や通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりを推進しました。

(1) デイサービスセンターほっと久米田の運営

週 5 日開所、サービス時間 3~4 時間型、利用定員 10 人

(開所日数：261 日、通所介護利用者延べ 6,367 人)

①地域密着型通所介護の実施

(開所日数：261 日、通所介護利用者延べ 2,674 人)

②介護予防・日常生活支援総合事業の実施

(開所日数：261 日、通所型サービス A 利用者延べ 3,693 人)

③体力測定の実施 (7 月 105 人、11 月 108 人、3 月 106 人)

栄養テスト (7 月 105 人、11 月 108 人、3 月 106 人)

健康な体づくり講座 (8 月 100 人、12 月 105 人)

満足度アンケート (11 月 88 人)

(2) 社協運営としての役割・地域づくりに向けての取り組み

①岸和田市介護保険事業者連絡会への参画 (運営会議 5 回内オンライン

5 回、部会会議 6 回内オンライン 4 回、研修会 4 回内オンライン 4 回)

②地域運営推進会議の開催 (3 月 24 日)

③就労訓練 (9 月延べ 5 人)

④ボランティア訪問 (8 月、12 月延べ 10 人)

⑤ボランティア研修会「社協のデイサービスが目指す地域との介護予防  
について」(11 月八木地区 43 人)(3 月八木南地区 50 人)

## 【障害福祉サービス事業】

障害のある人が在宅生活を継続する事が出来るよう、社会参加の機会の確保及び地域社

会における共生が可能となるよう、サービス提供・支援を行いました。

(1) 障害者支援センター岸和田市社協の運営

①障害者総合支援法に基づく居宅介護、重度訪問介護、移動支援サービスの提供

利用者数 85 人以上目標、利用者数 80 人

(サービス提供責任者 2 人配置)

**【一般相談支援事業・地域生活支援事業（委託相談支援事業）】**

障害のある人の福祉に関する様々な課題について、障害のある人等からの相談に応じ、必要な情報の提供、障害福祉サービスの利用支援、権利擁護のために必要な援助を行いました。

(1) 相談センター社協「のだ」の運営

①障害児・者や家族、関係機関等からの相談窓口として、相談支援業務を実施。年間相談数（人数／対応件数）

身体 10 人／177 件、知的 21 人／403 件、精神 69 人／1,803 件

②社会生活力を高めるための支援等

・社会参加、余暇活動充実のための場作り

・発達障害者等のための「トレインクラブ」開催 10 回参加者延べ 61 人

・外出企画 1 回

③社会保険労務士による障害年金相談（奇数月 第 2 金曜日実施）

相談件数／14 件

(2) 地域移行支援及び地域定着支援の実施。

①地域移行支援 実施件数 2 件

②地域定着支援 実施なし

(3) 地域生活サポート社協の運営

①障害者総合支援法に基づく自立生活援助サービスを実施。

新規契約件数／2 件

**【生活困窮者自立支援事業（市受託事業）】**

自立相談支援事業・学習支援事業・居住支援関係・家計改善支援事業

生活困窮者が困窮状態から早期に脱却することを支援するため、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援等を実施するとともに地域における自立・就労支援等の体制づくりに取組みました。

(1) 自立相談支援事業

新規相談受付件数 4,202 件、支援決定・確認件数 86 件

支援継続中ケース数 80 件

生活困窮者就労訓練事業の認定

(2) 学習支援事業（マイルーム）※社会的居場所づくり事業

①運営場所・開催日・開催時間

福祉総合センター 毎週1回（水）17:30～20:30

デイサービスセンターほっと久米田 毎週1回（水）17:30～20:30

②登録者人数・開催回数・食事提供人数

福祉総合センター登録者数26人、開催回数40日開催

延べ331人、延べ食事提供数141人

デイサービスセンターほっと久米田登録者数17人

開催回数40回開催、延べ329人、延べ食事提供数133人

③イベント開催回数・担当者会議開催回数

イベント開催回数0回 ※新型コロナウイルス感染症防止のため

担当者会議10回（令和2年6月～令和3年3月まで月1回）

(3) 居住支援関係

・相談合計数：97人

・CUE HOUSE 事業利用者数：10人 430泊

・一時生活支援事業受入利用者数：17人 335泊

(4) 家計相談支援事業

市民向け・専門職向けセミナーの開催 3回

(5) 就労体験・就労訓練受け入れ人数

・福祉総合センター：7人

（作業内容：清掃・事務処理・除草・散水作業）

・やすらぎ東光デイサービスセンター：1名（介護補助）

**【コミュニティソーシャルワーカー設置事業】**

制度の狭間や複数の福祉課題を抱えるなど、既存の福祉サービスだけでは対応困難な事案の解決に取り組みました。

(1) いきいきネット相談支援センターふれあい朝陽の運営

①相談ひろば「いこい」の実施（年7回、年間参加者数143人）

②CSW連絡協議会への参加 月1回参加

③地域での戸別訪問、相談支援の実施（年間相談件数88件）

④地域住民活動との協働・支援

⑤要援護者等に対する見守り・発見、相談から適切なサービスへの「つながり」が機能する体制づくり